さわってみよう♪　見てみよう♪

～3万年前の野尻湖の生物たち～

さわってみよう

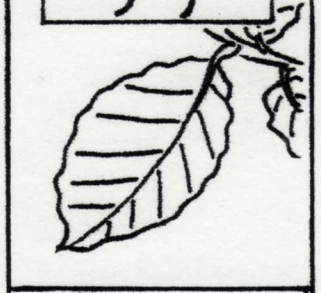
君だけのしおりを作ってみよう！

昔の野尻湖周辺にはどんな植物が生えていたのかな？

コナラ

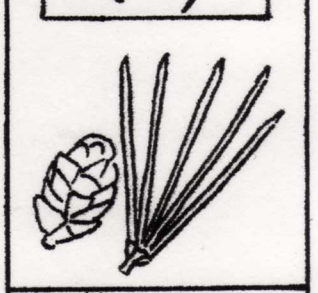
- 葉の形はギザギザ
- 落葉広葉樹
- どんぐりの木

ブナ



- 葉の周りは波状
- 落葉広葉樹
- 森のダム

マツ

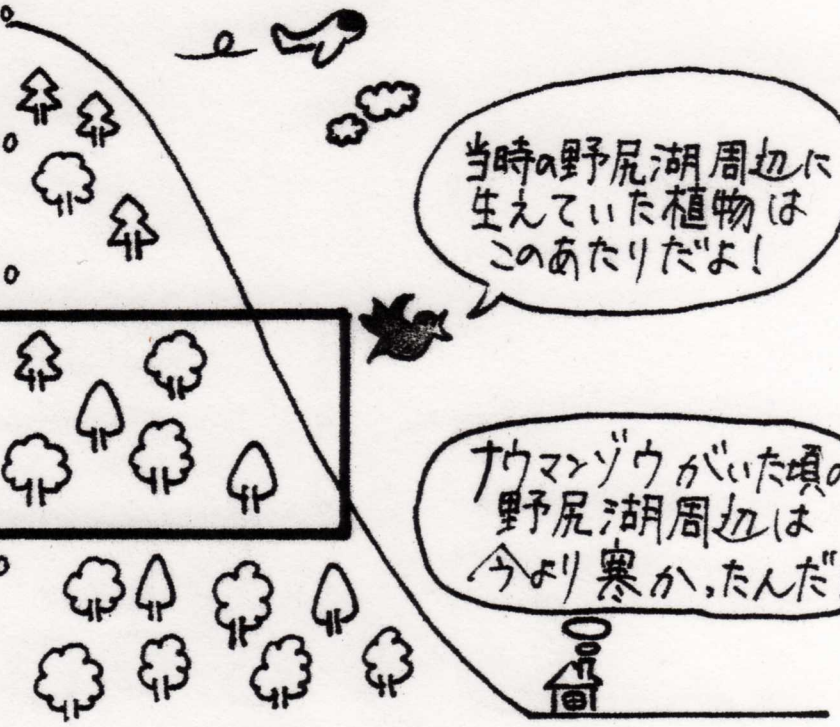


- 葉は針状
- 落葉針葉樹
- マツボックリ

このような植物は今はどんな気候に生えているのかな？

<中部地方の山を例にして見てみよう！>

気候区分	年平均気温
寒帯（高山帯）	-1℃ ～ 1.5℃
亜寒帯（亜高山帯）	1.5℃ ～ 5℃
冷温帯（山地帯）	5℃ ～ 10.5℃
暖温帯（丘陵帯）	10.5℃ ～ 14℃



このような植物を使って

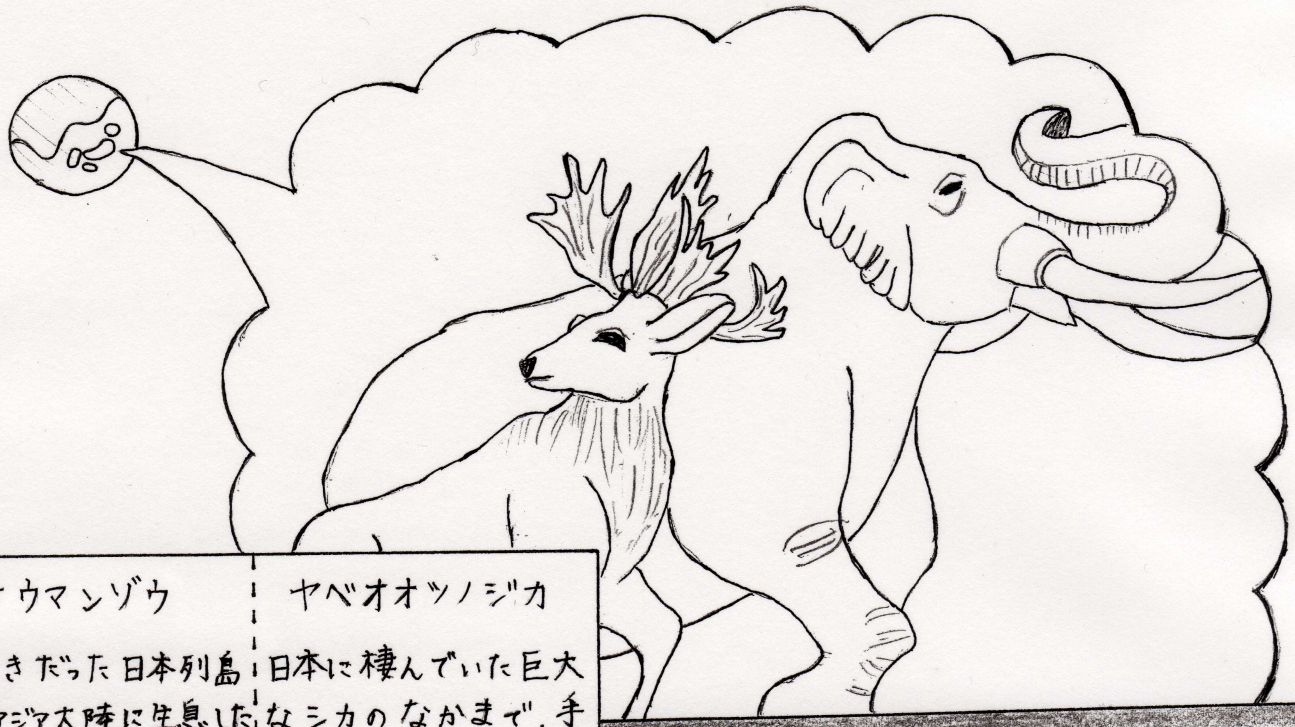
君だけの**しおり**を作ってみよう!!

見てみよう

現代に残った
野尻湖の哺乳類と出会おう

3万年という時をさかのぼった地球の姿を、皆さんは想像したことがありますか。
海面は今よりも、100mから130mも低く、気温も今と比べて低かったのです。

そんな中、生きている動物たちも、全く違った姿をしていました。
かっこいいものから、かわいいものまで……その姿は多種多様です。
そんな動物たちに、今日は会いに行きましょう！



ナウマンゾウ	ヤベオオツノジカ
陸続きだった日本列島と東アジア大陸に生息したとされているゾウです。オスは、切歯（象牙）がよく発達していて、長さは240cmもあり、太さは15cmになります。メスは60cm太さは6cm程度です。	日本に棲んでいた巨大なシカのなかまで、手のひらを広げたような掌状角という角をもっていました。大きさは、現代のニホンジカの約3倍にもなります。

ここではナウマンゾウとヤベオオツノジカの簡単な説明でした。展示場ではナウマンゾウのさらに詳しく、魅力的な世界が見ることができます。さらに、リアルなレプリカを用意しており、学生たちが丁寧に説明します。

お待ちしています！

みんなで3万年前の野尻湖の自然を体感しよう!!